



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001256181 A**(43) Date of publication of application: **21.09.01**

(51) Int. Cl. **G06F 15/00**
G06F 12/00
G06F 13/00
G06F 17/30

(21) Application number: **2000069207**(22) Date of filing: **13.03.00**(71) Applicant: **NIPPON YUNISHISU KK**

(72) Inventor: **YAMADA TSUTOMU**
MURAYAMA KAZUMI

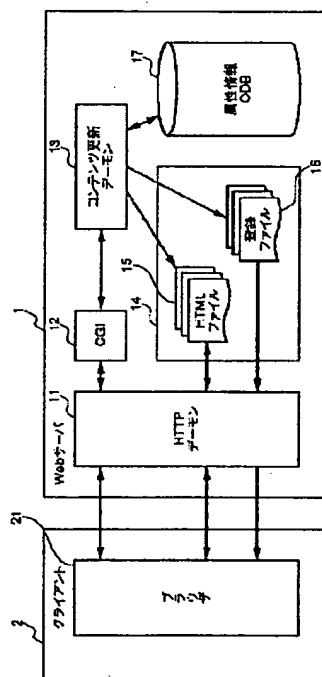
(54) **SERVER SYSTEM, UPDATING METHOD FOR
WEB PAGE AND RECORDING MEDIUM**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that Web page production software like an HTML editor is normally used for the contents production of a Web page and the convenience of directly generating the Web page from a browser which is software for browsing the Web page is not provided.

SOLUTION: A contents updating demon 13 converts data inputted through the browser 21, an HTTP demon 11 and a CGI 12 to a file form perusable by the general browser such as an HTML form and stores them in a file system 14. Further, the contents updating demon 13 manages the data stored in the file system 14 by storing attribute information corresponding to the data stored in the file system 14 into an attribute information ODB 17.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-256181

(P2001-256181A)

(43) 公開日 平成13年9月21日 (2001.9.21)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト [*] (参考)
G 0 6 F 15/00	3 1 0	G 0 6 F 15/00	3 1 0 A 5 B 0 7 5
12/00	5 1 5	12/00	5 1 5 M 5 B 0 8 2
	5 4 6		5 4 6 A 5 B 0 8 5
13/00	3 5 4	13/00	3 5 4 D 5 B 0 8 9
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F

審査請求 有 請求項の数11 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-69207 (P2000-69207)

(22) 出願日 平成12年3月13日 (2000.3.13)

(71) 出願人 591030237

日本ユニシス株式会社

東京都港区赤坂2丁目17番51号

(72) 発明者 山田 勉

東京都港区赤坂二丁目17番51号 日本ユニシス株式会社内

(72) 発明者 村山 一美

東京都港区赤坂二丁目17番51号 日本ユニシス株式会社内

(74) 代理人 100076428

弁理士 大塚 康徳 (外1名)

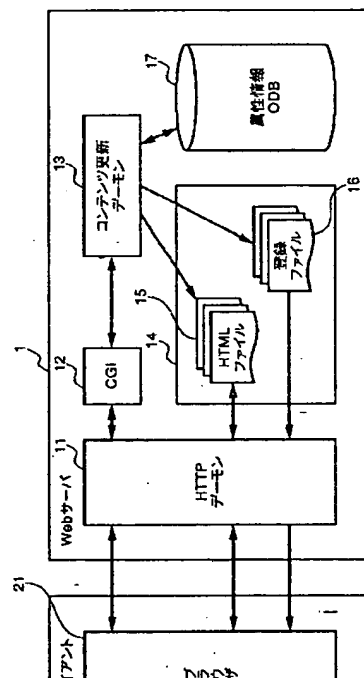
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 サーバシステムおよびウェブページの更新方法、並びに、記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 Webページのコンテンツ作制は、通常、HTMLエディタのようなWebページ作制ソフトウェアが使用され、Webページをブラウズするためのソフトウェアであるブラウザから、直接、Webページを生成するような簡便性は提供されていない。

【解決手段】 コンテンツ更新デーモン13は、ブラウザ21、HTTPデーモン11およびCGI12を経て入力されるデータを、HTML形式などの一般的なブラウザで閲覧可能なファイル形式に変換してファイルシステム14に格納する。さらに、コンテンツ更新デーモン13は、ファイルシステム14に格納したデータに対応する属性情報を属性情報OD B17に格納することで、ファイルシステム14に格納したデータを管理する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サーバから提供されるコンテンツリストの画面に従いウェブページを更新する更新方法であって、

前記コンテンツリストの画面には、コンテンツの登録、削除および編集に関するアイコンまたはボタンが含まれることを特徴とする更新方法。

【請求項2】 クライアントにコンテンツリストの画面を提供してウェブページを更新させる更新方法であって、

前記コンテンツリストの画面には、コンテンツの登録、削除および編集に関するアイコンまたはボタンが含まれることを特徴とする更新方法。

【請求項3】 前記コンテンツリストは、前記ウェブページに登録されたコンテンツのリストであることを特徴とする請求項1または請求項2に記載された更新方法。

【請求項4】 前記コンテンツリストの画面は、少なくとも、前記ウェブページに登録されたコンテンツの数に対応する数の行を有し、各行は、少なくとも、コンテンツの名称およびそのコンテンツに対応する前記登録、削除および編集アイコンまたはボタンを有することを特徴とする請求項1または請求項2に記載された更新方法。

【請求項5】 前記ウェブページの更新は、ネットワークを介して行われることを特徴とする請求項1から請求項4の何れかに記載された更新方法。

【請求項6】 クライアントの要求に基づきウェブページを前記クライアントに供給する供給手段と、前記ウェブページ供給手段により供給されるコンテンツリストの画面に基づく指示および情報を前記クライアントから受信する受信手段と、受信された指示および情報に基づき前記コンテンツリストを含む前記ウェブページを更新する更新手段とを有することを特徴とするサーバシステム。

【請求項7】 前記コンテンツリストの画面には、コンテンツの登録、削除および編集に関するアイコンまたはボタンが含まれることを特徴とする請求項6に記載されたサーバシステム。

【請求項8】 前記コンテンツリストは、前記ウェブページに登録されたコンテンツのリストであることを特徴とする請求項6または請求項7に記載されたサーバシステム。

【請求項9】 前記コンテンツリストの画面は、少なくとも、前記ウェブページに登録されたコンテンツの数に対応する数の行を有し、各行は、少なくとも、コンテンツの名称およびそのコンテンツに対応する前記登録、削除および編集アイコンまたはボタンを有することを特徴とする請求項6または請求項7に記載されたサーバシステム。

求項9の何れかに記載されたサーバシステム。

【請求項11】 サーバシステム用のプログラムコードが記録された記録媒体であって、前記プログラムコードは少なくとも、

クライアントの要求に基づきウェブページのデータを前記クライアントに供給するステップのコードと、供給したコンテンツリストの画面に基づく指示および情報を前記クライアントから受信するステップのコードと、

受信した指示および情報に基づき前記コンテンツリストを含む前記ウェブページを更新するステップのコードとを有することを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明はサーバシステムおよびウェブページの更新方法、並びに、記録媒体に関し、例えば、ウェブページを提供するサーバシステム、および、そのウェブページの更新方法に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットやイントラネットを介して、各種の情報を公開する手段として、Web（ウェブ）サイトの利用が普及している。Webサイトの各ページ（以下「Webページ」と呼ぶ）の内容であるコンテンツの作製には、通常、HTML(Hyper TextMarkup Language)エディタのようなWebページ作製ソフトウェアが使用される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】現状は、Webページをブラウズするためのソフトウェアであるブラウザから、直接、Webページを生成するような簡便性は提供されていない。

【0004】また、Webページのコンテンツ作製に関する技術は、HTMLデータを生成することが中心で、Webページのコンテンツを登録、変更または削除する状況（以下「Webページの更新」と呼ぶ）を考慮したものではない。従って、Webページを更新する必要が発生した場合、HTMLデータの記述を走査して、コンテンツを登録すべきHTMLデータ上の位置、あるいは、変更または削除すべきコンテンツのHTMLデータ上の位置（以下「更新位置」と呼ぶ）を特定する必要がある。このような更新作業には効率が悪い、および、更新位置の特定が不正確になるという問題が潜在するとともに、複数の利用者が同一Webページの更新を望む場合に同時に更新作業ができないという問題も孕んでいる。

【0005】なお、Webページに関連するデータの更新についても上記と同様な問題がある。

【0006】本発明は、上述の問題を解決するためのものであり、コンテンツ作製のソフトウェアを使うこと

【0007】また、Webページおよび関連データの更新を容易、正確かつ効率的に行えるようにすることを他の目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、前記の目的を達成する一手段として、以下の構成を備える。

【0009】本発明にかかる更新方法は、サーバから提供されるコンテンツリストの画面に従いウェブページを更新する更新方法であって、前記コンテンツリストの画面には、コンテンツの登録、削除および編集に関するアイコンまたはボタンが含まれることを特徴とする。

【0010】また、クライアントにコンテンツリストの画面を提供してウェブページを更新させる更新方法であって、前記コンテンツリストの画面には、コンテンツの登録、削除および編集に関するアイコンまたはボタンが含まれることを特徴とする。

【0011】好ましくは、前記コンテンツリストは、前記ウェブページに登録されたコンテンツのリストであることを特徴とする。

【0012】本発明にかかるサーバシステムは、クライアントの要求に基づきウェブページのデータを前記クライアントに供給する供給手段と、前記ウェブページ供給手段により供給されるコンテンツリストの画面に基づく指示および情報を前記クライアントから受信する受信手段と、受信された指示および情報に基づき前記コンテンツリストを含む前記ウェブページを更新する更新手段とを有することを特徴とする。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明にかかる一実施形態のサーバシステムを説明する。なお、Webページを提供するサーバシステムに本発明を適用する例を説明するが、Webページに限らず、ドキュメントなどの情報を階層的に管理またはリンク情報によって管理し、かつ、それらの情報をネットワークを介してクライアントに提供するハイパノーツ状のシステムでも、本発明を適用することができる。

【0014】〔システムの構成〕図1は本実施形態のサーバシステムの機能構成例を説明するブロック図である。

【0015】図1において、Webサーバ1上では、IISやApacheなどのhttp(Hyper Text Transfer Protocol)デーモン11が稼動し、クライアント2上で稼動するブラウザ21と通信を行う。なお、図1には示さないが、Webサーバ1とクライアント2とは、インターネット、イントラネットまたはLAN(Local Area Network)などのネットワークを介して接続されている。

【0016】HTTPデーモン11は、ブラウザ21の要求に従い、ファイルシステム14に登録されたHTMLファイル15を

登録されたバイナリファイルなどの登録ファイル16をhttpなどによりブラウザ21に供給する機能を有する。勿論、必要に応じてftp(File Transfer Protocol)を利用してよい。

【0017】Webサーバ1には、さらにCGI(Common Gateway Interface)12およびJavaなどによって記述されたコンテンツ更新デーモン13が存在する。詳細は後述するが、これらのソフトウェアにより、クライアント2のユーザは、Webページ上に表示されるアイコンおよびボタンなどをクリックすることにより、Webサーバ1によって提供されるWebページの更新作業を容易かつ確実に行うことができる。

【0018】Webサーバ1上に存在する属性情報オブジェクトデータベース（以下「属性情報ODB」と略す）17は、Webサーバ1によって提供されるWebページに登録されたコンテンツの属性情報が保存されるデータベースであり、Webページの更新の際にコンテンツ更新デーモン13によって参照され更新される。

【0019】このような構成を有するサーバシステムにおいて、クライアント2のユーザは、ブラウザ21を介して、Webサーバ1が提供するWebページおよびその関連データを更新することが可能になる。つまり、コンテンツ更新デーモン13は、ブラウザ21、HTTPデーモン11およびCGI12を経て入力されるデータをファイルシステム14に格納し、さらに、ファイルシステム14に格納したデータに対応する属性情報を属性情報ODB17に格納することで、ファイルシステム14に格納されたデータを管理する。なお、HTML形式などの一般的なブラウザで閲覧可能なファイル形式に変換可能なデータはHTMLデータ15として、変換不可能なバイナリデータなどはWebページにリンクされた登録ファイル16として、ファイルシステム14に格納される。

【0020】言い換えれば、コンテンツ更新デーモン13は、ブラウザ21、HTTPデーモン11およびCGI12を経て入力される情報に基づき、後述するコンテンツリストを生成、更新するとともに、後述するコンテンツの登録、削除および編集処理、並びに、コンテンツリストおよびコンテンツの管理を実現するものである。

【0021】〔コンテンツリスト〕図2は一連のWebページにおけるトップページの画面の一例を示す図で、このトップページの下に登録されたコンテンツがリストアップされている。このトップページは、クライアント2からWebサーバ1にアクセスすると、ブラウザ21の画面として表示されるものである。

【0022】コンテンツリストの各行は各コンテンツに対応する。各行には、コンテンツの内容を示す情報として、左から、コンテンツの種類（ファイル、URL(Uniform Resource Locator)、テキスト、フォルダなど）を示

だし、コンテンツの種類が「メモ」および「見出し」の場合は、その特性からアイコン31を表示しない。

【0023】アイコン31およびコンテンツの名称32にはリンクが設定されている。従って、アイコン31またはコンテンツの名称32の部分をクリックすると、テキスト、メモ、並びに、JPEG(Joint Photographic Experts Group)、GIF(Graphics Interchange Format)およびPNG(Portable Network Graphics)形式の画像ファイルなど、ブラウザが表示可能なコンテンツの場合は対応するデータがブラウザ21の画面に表示される。また、表示不可能なコンテンツの場合はWebサーバ1からクライアント2へ対応するデータファイルのダウンロードが実行され、URLやフォルダの場合は対応するURLやフォルダの内容がブラウザの画面に表示される。なお、リンクの処理、表示データの転送およびダウンロードなどは、上述したHTTPデモン11によって実行される。

【0024】行の右端には、コンテンツを登録、削除または編集するための登録ボタン41、削除ボタン42および編集ボタン43が配置されている。クライアント2のユーザは、これらのボタンをクリックすることで、所望する更新作業を行うことができる。例えば、三行目のファイル属性をもつコンテンツ「住所(変更)届」の右端の登録ボタン41をクリックすると、二行目および三行目の間に新たなコンテンツが追加される(勿論、三行目および四行目の間に新たなコンテンツを追加するようにすることもできる)。削除ボタン42をクリックすれば三行目のコンテンツが削除され、編集ボタン43をクリックすれば三行目のコンテンツを編集することができる。なお、登録、削除および編集処理は、上述したCGI12およびコンテンツ更新デモン13によって実行される。

【0025】また、コンテンツリストの末行には登録ボタン41だけが配置されているが、これはコンテンツリストの末行にコンテンツを追加するための登録ボタンである。さらに、ページの右上に表示された日時表示51は、そのページの最終更新日時を示す。

【0026】また、図2に示すコンテンツリストの形態は、アイコン31およびボタン41から43の形態および形状を含めて一例であり、同様の機能を実現する形態や形状であればよい。

【0027】〔登録処理〕図3は、図2に示すコンテンツリストにコンテンツを追加する登録処理の一例を示すフローチャートである。

【0028】ユーザは、ステップS1で、コンテンツを追加するコンテンツリストの位置を決定し、ステップS2でその位置に対応する登録ボタン41をクリックする。例えば、図2に示す二行目と三行目との間にコンテンツを追加するならば、三行目の登録ボタン41をクリックすればよい。

面が表示される。ユーザは、ドロップダウンメニューからコンテンツの種類を選択し、〔確定〕ボタンをクリックすることで、登録すべきコンテンツの種類(属性情報の一つ)を指定する。

【0030】続いて、ステップS4で、登録するコンテンツの種類に応じた登録画面が表示される。図5はファイルを登録するための画面で、例えば、コンテンツの種類として「ファイル」および「テキスト」などが指定された場合の一例である。ユーザは、登録するコンテンツのタイトル、ファイル名、登録者(ユーザ)の氏名および登録者(ユーザ)の電子メールアドレスの各項を入力し、必要であればコンテンツの概要を入力する。なお、登録画面で入力する情報はすべてコンテンツの属性情報として扱われる。

【0031】なお、URL、メモ、フォルダおよび見出しなどの属性を有する情報が登録される場合、図5に示すファイル名入力枠の代わりに、URL、メモ、フォルダまたは見出しなどを入力または指定するための枠を表示すればよい。

【0032】続いて、ユーザは、ステップS5で、登録画面に入力した情報を確認し、この情報を登録する場合は〔登録〕ボタンをクリックする。もし、登録を中止するときは〔取消〕ボタンをクリックする。〔取消〕ボタンがクリックされると登録処理は終了する。

【0033】〔登録〕ボタンがクリックされた場合は、ステップS6で登録内容を確認する画面(図6)が表示され、ユーザが〔閉じる〕ボタンをクリックすると登録処理が終了する。図7はコンテンツの登録処理が終了した後のコンテンツリストの一例を示す図である。つまり、図2に示すコンテンツリストの一行目、見出し属性をもつ「書類一式…ください」の右端の登録ボタン41がクリックされて、その上の行にファイル属性をもつ「婚姻届一覧」が登録された状態を図7は示している。なお、コンテンツの登録位置も属性情報として扱われる。

【0034】〔削除処理〕図8は、図2に示すコンテンツリストに含まれるコンテンツを削除または移動する削除処理の一例を示すフローチャートである。

【0035】ユーザは、ステップS11で、削除(移動)するコンテンツの削除ボタン42をクリックする。削除ボタン42をクリックすると、図9に示すコンテンツの削除画面が表示される。ユーザは、ステップS12でラジオボタンによってコンテンツを削除するか、移動するために切り取るかを選択し、ステップS13でパスワードを入力した後、〔削除〕ボタンをクリックすることで、削除(移動)すべきコンテンツが削除または切り取られる。ステップS13で〔取消〕ボタンがクリックされた場合、または、パスワードが正しくない場合は、ステップS14の判定により削除処理が終了する。

ンをクリックすると処理はステップS16へ進む。なお、図9および図10はコンテンツの移動が選択された場合を示している。ステップS16では、コンテンツの削除か否かが判定され、コンテンツの削除であれば削除処理は終了する。一方、コンテンツの移動処理であればステップS17へ進む。

【0037】ユーザは、ステップS17で、切り取ったコンテンツを移動すべきコンテンツリストの位置を決定し、ステップS18でその位置に対応する登録ボタン41をクリックする。例えば、図2に示す二行目と三行目との間に切り取ったコンテンツを移動するならば、三行目の登録ボタン41をクリックすればよい。

【0038】登録ボタン41をクリックすると、ステップS19で、図4に示すコンテンツの種類を指定するための画面が表示される。ユーザは、ドロップダウンメニューからコンテンツの種類として「貼り付け」を選択し、ステップS20で「確定」ボタンをクリックすることで、切り取られたコンテンツが指定位置に貼り付けられる。この場合、コンテンツの属性情報は、切り取り貼り付け前の位置情報を除く属性情報が維持される。また、必要に応じて、移動を行ったユーザの情報を属性情報として管理してもよい。もし、貼り付けを中止するときは「取消」ボタンをクリックすればよい。「取消」ボタンがクリックされると削除処理は終了する。

【0039】「確定」ボタンがクリックされた場合は、ステップS21で貼り付けを確認する画面（図11）が表示され、ユーザが「閉じる」ボタンをクリックすると削除処理が終了する。図12はコンテンツの削除が終了した後のコンテンツリストを示す図である。つまり、図2に示すコンテンツリストの10行目、メモ属性をもつコンテンツ「婚姻受理証明書又は戸籍謄本」が削除された状態を図12は示している。

【0040】〔編集処理〕図13は、図7に示すコンテンツリストに含まれるコンテンツを編集する手順の一例を示すフローチャートである。

【0041】ユーザは、ステップS31で、編集するコンテンツの編集ボタン43をクリックする。編集ボタン43をクリックすると、図14に示すコンテンツの編集を開始するための画面が表示される。ユーザは、ステップS32でパスワードを入力した後、「編集」ボタンをクリックすることで、コンテンツの編集画面（図15）が表示される。ステップS32で「取消」ボタンがクリックされた場合、または、パスワードが正しくない場合は、ステップS33の判定により編集処理が終了する。

【0042】続いて、ユーザは、ステップS34でコンテンツを上書きするか否かを判断して、上書きする場合はステップS35でファイル入力枠にファイル名を入力する。ファイル名が入力された場合、登録済みのファイル

し、ファイル名として例えば「E:\婚姻届一覧_更新.doc」が指定された場合、Webサーバ1に登録された「婚姻届一覧.doc」は「E:\婚姻届一覧_更新.doc」に置き換えられ、登録ファイル名は「婚姻届一覧.doc」のままである。

【0043】次に、ユーザは、ステップS36で属性情報を更新するか否かを判断して、更新する場合はステップS37で属性情報の入力枠に新たな属性情報を入力する。図15は「婚姻届一覧」の編集が指定され、概要の入力枠に属性情報が入力された例を示している。

【0044】続いて、ユーザが、ステップS38で「登録」ボタンをクリックすると、コンテンツが更新される。また、必要に応じて、編集を行ったユーザの情報を属性情報として管理してもよい。もし、編集を中止するときは「取消」ボタンをクリックすればよい。「取消」ボタンがクリックされると編集処理は終了する。

【0045】「登録」ボタンがクリックされた場合は、ステップS39で編集内容を確認する画面（図16）が表示され、ユーザが「閉じる」ボタンをクリックすると編集処理が終了する。図14から図16に一例を示す編集作業により、図7に示すコンテンツリストの一行目のファイル属性をもつコンテンツ「婚姻届一覧」にはコンテンツの概要33として「この書類にチェックをして提出してください。」が付加される。

【0046】このように、本実施形態によれば、Webページ作制ソフトウェアを使用せずに、ブラウザの画面に表示された登録、削除または編集ボタンをクリックすることで、Webページを更新することができる。従って、ユーザは、Webページ作制ソフトウェアの操作を習熟する必要はない。さらに、Webサーバ1にファイルを登録したり、Webサーバ1に登録されたファイルを削除する場合、Webサーバ1の何処に登録する、登録されているなどの情報に基づき、ftpソフトウェアなどにより登録、削除作業を行う作業も不要になり、Webページの更新を極めて容易に行うことができる。

【0047】さらに、Webページに登録されたコンテンツの位置は、属性情報の一部であるコンテンツリスト上の位置情報として管理されるので、Webページの更新する必要が発生した場合、HTMLデータの記述を走査して更新位置を特定する必要はなく、コンテンツリストの所望する位置を指示するだけでよい。従って、Webページの更新作業の効率を飛躍的に高め、更新位置の特定を正確にするだけでなく、複数の利用者が同一Webページの更新を望む場合に同時に更新作業ができるという効果を得ることができる。

【0048】

【他の実施形態】本発明は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記

っても達成される。この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現し、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【0049】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、コンテンツ制作用のソフトウェアを使うことなく、Webページおよび関連データを更新できる。

【0050】さらに、Webページおよび関連データの更新を容易、正確かつ効率的に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施形態のサーバシステムの機能構成例を説明するブロック図、

【図2】一連のWebページにおけるトップページの画面の一例を示す図、

【図3】登録処理の一例を示すフローチャート、

【図4】コンテンツの種類を指定するための画面例を示す図、

【図5】ファイルを登録するための画面例を示す図、

【図6】登録内容を確認する画面例を示す図、

【図7】登録処理が終了した後のコンテンツリストの一例を示す図、

【図8】削除処理の一例を示すフローチャート、

【図9】コンテンツの削除画面例を示す図、

【図10】削除（移動）の確認画面例を示す図、

【図11】貼り付けを確認する画面例を示す図、

【図12】削除処理が終了した後のコンテンツリストの一例を示す図、

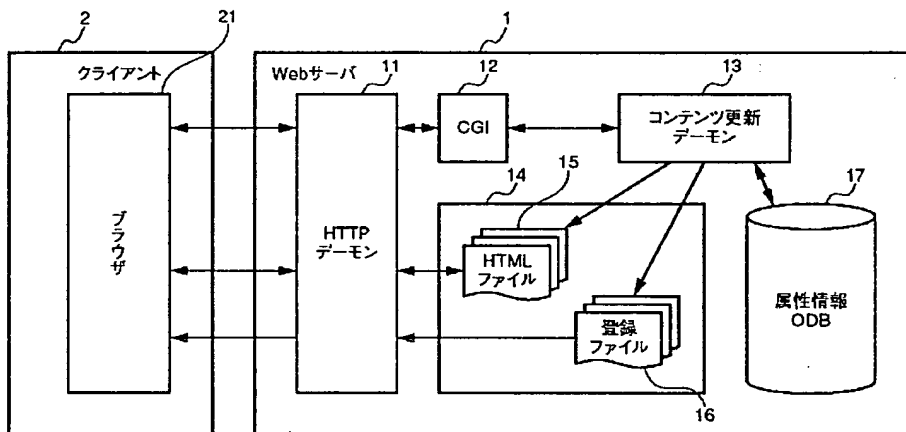
【図13】編集処理の一例を示すフローチャート、

【図14】編集処理の開始画面例を示す図、

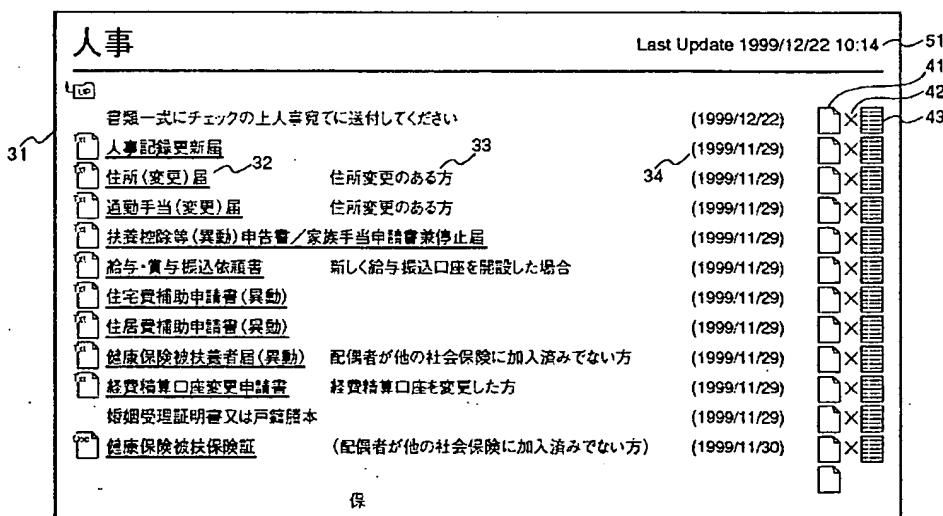
【図15】コンテンツの編集画面例を示す図、

【図16】編集内容を確認する画面例を示す図である。

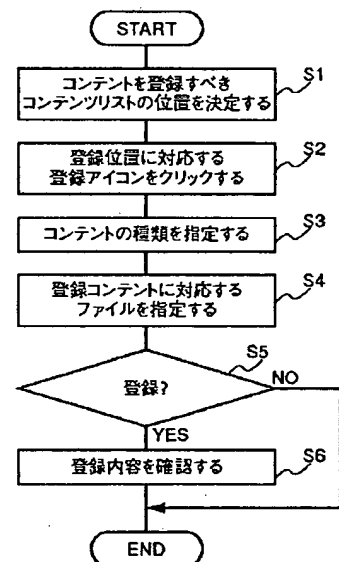
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

コンテンツの種類指定

コンテンツの種類 貼り付け ▼

確定 取消

- 貼り付け
- ファイル
- URL
- テキスト
- メモ
- フォルダ
- 見出し

【図5】

ファイルの登録

タイトル：

ファイル名：
 参照...

登録者氏名：

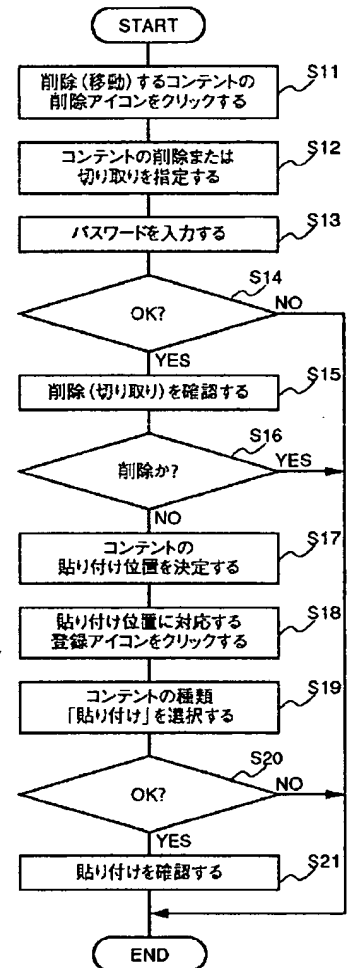
登録者メールアドレス：

更新日：

概要：

登録 取消

【図8】



ファイルの登録

閉じる

人事

(1999/11/30)

41
42
43

【図9】

コンテンツの削除

○コンテンツを削除します
 ◎コンテンツを切り取ります

タイトル: 婚姻受理証明書または戸籍謄本
 登録者氏名: 小関 直哉
 登録者メールアドレス: koseki@webworker.com
 パスワード:

【図10】

コンテンツの削除

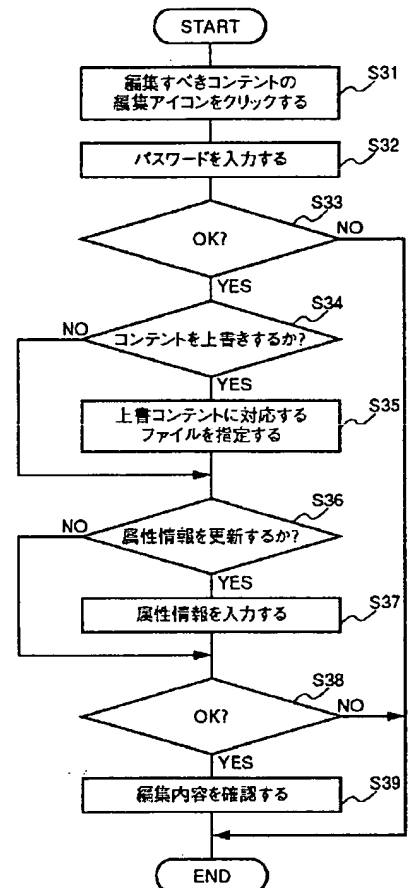
コンテンツを切り取りました。

コンテンツの種類指定ページで[貼り付け]を選択すると、いま切り取ったコンテンツを貼り付けることが出来ます。

貼り付けは、次に切り取りを行うかブラウザを終了するまで有効です。

貼り付けできない場合は、ブラウザの設定でcookieが無効になっていないか確認してください。

【図13】



【図11】

貼り付け

貼り付けました。

タイトル：婚姻受理証明書または戸籍謄本

閉じる

【図12】

人事

Last Update 2000/03/07 10:14

登録一式にチェックの上人事宛てに送付してください (1999/12/22)

人事記録更新届 (1999/11/29)

住所(変更)届 住所変更のある方 (1999/11/29)

通勤手当(変更)届 住所変更のある方 (1999/11/29)

扶養控除等(異動)申告書/家族手当申請書兼停止届 (1999/11/29)

給与・賞与振込依頼書 新しく給与振込口座を開設した場合 (1999/11/29)

住宅費補助申請書(異動) (1999/11/29)

住居費補助申請書(異動) (1999/11/29)

健康保険被扶養者届(異動) 配偶者が他の社会保険に加入済みでない方 (1999/11/29)

経費精算口座変更申請書 経費精算口座を変更した方 (1999/11/29)

健康保険被扶養保険証 (配偶者が他の社会保険に加入済みでない方) (1999/11/30)

【図14】

コンテンツの編集

コンテンツを編集します

タイトル: 婚姻届一覧

登録者氏名: 上部 和敬

登録者メールアドレス: koseki@webworker.com

パスワード:

編集

取消

【図15】

コンテンツの編集

タイトル:

婚姻届一覧

ファイル(登録済みファイル: 婚姻届一覧.doc)
(ファイルを指定した場合は登録済みのファイルに上書きします。
未指定の場合は属性情報のみ更新します。)

参照...

登録者氏名:

登録者メールアドレス:

更新日:

2000/03/08

概要:

この書類にチェックをして提出してください。

登録

削除

【図16】

コンテンツの編集
<p>コンテンツを更新しました。</p> <p>タイトル：婚姻届一覧</p> <p>ファイル：婚姻届一覧.doc</p> <p>登録者氏名：上部 和歌</p> <p>登録者メールアドレス：webworker@webworker.com</p> <p>更新日：2000/03/08</p> <p>概要：</p> <p>この書類にチェックをして提出してください。</p> <p><input type="button" value="閉じる"/></p>

 フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	ターマコード (参考)
G 0 6 F 17/30	2 3 0	G 0 6 F 17/30	2 3 0 Z
F ターム (参考) 5B075 NR02 PP03 PP13 PQ02			
5B082 GA14 GC00 HA00			
5B085 BE07 BG07			
5B089 GA11 GA21 GB04 HA06 HA10			
HB02 HB04 HB05 JA40 JB02			
KB07 LB14 LB19			